

放課後等デイサービス 自己評価表 調査結果(2021年度)

- アンケート配布数(対象者数) : 7名 回答数 : 7名 回収率 : 100%
- アンケート実施 : 2021年9~10月

環境・体制設備

		はい		いいえ		どちらともいえない	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%
1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切あるか	7	100%		0%		0%
2	職員の配置数は適切であるか	7	100%		0%		0%
3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	100%		0%		0%

【改善目標、工夫している点など】

- 1 ・広々している
・十分に余裕があると感じている。活動によってはゾーン分けすることもできる
- 2 ・利用者に何かあった時でも、十分に対応できる人数である
・十分だと思う
- 3 ・床がフラットで、壁や棚の角も保護している
・バリアフリーになっている

業務改善

		はい		いいえ		どちらともいえない	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%
4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	7	100%		0%		0%
5	保護者向け評価表を活用等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか	6	86%		0%	1	14%
6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	28%	4	56%	1	14%
7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		0%	5	72%	2	28%
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	100%		0%		0%

【改善目標、工夫している点など】

- 4
- ・実施している
 - ・気付いたことは口頭で情報交換をしている
 - ・会議などで日常の支援に問題があれば改善に向けて全職員で話し合っている
- 5
- ・アンケート調査を実施している
- 6
- ・今回が初めての評価であるため、集計次第ホームページに公開予定
 - ・今回が初めての評価のためまだ公開できていないが、今後ホームページで公開していく
- 8
- ・定期的実施している
 - ・月1以上で行っている
 - ・月1回の事業所内研修やオンライン講座など、研修は月1回以上必ず行っている

適切な支援の提供

		はい		いいえ		どちらともいえない	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%
9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	100%		0%		0%
10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	100%		0%		0%
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	100%		0%		0%
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	100%		0%		0%
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	6	86%		0%	1	14%
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	100%		0%		0%
15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	86%		0%	1	14%
16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	58%	1	14%	2	28%
17	日々に支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	86%		0%	1	14%
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	100%		0%		0%
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	6	86%		0%	1	14%

【改善目標、工夫している点など】

- 9
 - ・年に2回保護者面談を行い、計画に反映させている
 - ・定期的に面談を行っている
- 10
 - ・脳バランスサーキッズを使用している
 - ・脳バランスサーキッズを使用している。行なう回数が少ないため時間を見つけないながら声掛けできるようにしたい
 - ・職員間で、情報や意見交換を行なっている
- 11
 - ・週案を立て、チームで意見を出し合いながら行なっている
 - ・週のリーダーが活動内容を考え、それに対して意見を出し合い決めている

- 12 ・活動の振り返りを必ず行い、改善・工夫に努めている
・新しい活動を多く取り入れ、人気の活動はレベルアップをしながら行なっている
・利用者さんたちが楽しめるよう工夫されている
- 13 ・活動を細かく設定し、利用者さんが無理なく行えるよう支援している
・1日の流れやメインの活動を決め支援を行っている
・月に一回の体験型のイベントや週に一回のおやつイベント、また長期休みにはメインの活動を設定して支援している
- 14 ・個々に合わせてはいるが、少しでも集団活動が行えるように計画を立てている
- 15 ・職員間で必ず伝え合い確認している
・パートの先生との確認が不十分な時が多い為、必ず行っていくたい
・職員間で共有している
- 16 ・その日のうちに共有できないこともあるが、翌日には必ず共有することが出来ている
・支援終了後には送迎などで時間を作ることが難しいこともあるが、翌日の朝には必ず共有することが出来ている
・その日ではなく、次の日の朝のミーティングの時に行なっている
・支援終了後には職員間で時間が取れないので、申し送りノートを活用
- 17 ・誰が見ても状況が分かるような記録を意識していきたい
・体調や活動の様子を次回の来所に繋がるように、なるべく詳細に残すことを心掛け記録している
・その日の児童の様子の記録は徹底している
- 18 ・6ヶ月に1回必ずモニタリングし、職員間で計画の評価・見直しを計っている
・保護者との面談やモニタリングを実施し、必要に応じて計画の見直し、変更を行っている
- 19 ・地域交流の機会については、新型コロナウイルス感染症対策の為、現状できていない。
・ボランティアの受け入れを行っている

適切な支援の提供

		はい		いいえ		どちらともいえない	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	7	100%		0%		0%
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換・子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整	7	100%		0%		0%
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		0%	2	28%	5	72%
23	就学前に利用していた保育園や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	86%	1	14%		0%
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	14%	2	28%	4	58%
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	58%	2	28%	1	14%
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		0%	4	58%	3	42%
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		0%	7	100%		0%
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	86%		0%	1	14%
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	44%	2	28%	2	28%

【改善目標、工夫している点など】

- 20 ・児童発達支援管理責任者や担当職員が必ず参加し、会議録を作成し回覧して共有している
- 21 ・学校迎え時に、その日の様子を必ず聞くようにしている
 ・事前に連絡を入れたり、確認をしたり、色々な状況を想定しトラブルの回避に努めている
 ・事業所内ではホワイトボードを使い共有できている
- 22 ・該当者なし
 ・医療ケアが必要な児童は受け入れていないが、ご家族からの要望を確認し、可能な限り対応している
 ・医療的ケアが必要な児童はいないため、現在主治医等との連絡体制はない
- 23 ・小学校入学と同時に利用を始めるご利用者が多いため、学校へ提出する「いわきっ子支援シート」(保護者、幼稚園・保育園・こども園、福祉事業所からの所見が記入されているもの)を活用したり、要望があれば、学校・幼稚園保育園こども園・事業所とで入学前に支援会議を行なっている
 ・必要に応じて相談支援事業所を介して情報提供を求めたりしている
- 24 ・該当者なし
 ・まだ実現されていないが、支援内容の共有はしていきたい
 ・相談支援事業所に報告を行うとともに、依頼があれば関係事業所にも情報提供を行う様になっている
- 25 ・現在コロナの影響で外部研修には参加できていない
 ・他の放デイとの連絡会など頻繁にできればよい
 ・オンライン研修を実施し、研修を受けた職員から、他の職員へ共有をしている
- 26 ・コロナの為行っていない
 ・予定していたが、コロナの影響で実施されていない
- 27 ・コロナ禍で機会を持てなかった。
- 28 ・インスタグラムやFacebookに投稿し活動の様子など伝えるようにしている
 ・送迎時などその日の出来事などを伝えたり、お家での様子を聞いて情報の共有に努めている
 ・LINEや電話で連絡を取っている
 ・連絡帳を活用し情報を共有している
- 29 ・ペアレントトレーニングは行っていないが、支援している中で気づいたことは直接話をしている
 ・ペアレントトレーニングは行っていないが、日頃から保護者とのやり取りは大切にしている
 ・ペアレントトレーニングとまではいかないが、活動の様子をお話して成長している点などを保護者と共有して、その後の育成に活かしてもらおうこともある
 ・お子さんの状況は毎日の連絡帳やLINE、電話連絡、送迎時に確認・報告をしており、支援につなげている

保護者への説明責任等

		はい		いいえ		どちらともいえない	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%
30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行なっているか	7	100%		0%		0%
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	86%		0%	1	14%
32	父母の会の活動の支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		0%	7	100%		0%
33	子供や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子供や保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	100%		0%		0%
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	86%	1	14%		0%
35	個人情報に十分注意しているか	7	100%		0%		0%
36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	100%		0%		0%
37	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	5	72%		0%	2	28%

【改善目標、工夫している点など】

- 30 ・契約時に説明を行っている
- 31 ・保護者の方と会う機会が少ないが、今後機会があった時に対応できるよう自己啓発したい
 ・送迎や面談の際に相談に応じ、支援につなげている
 ・LINEや電話でも気軽に相談できるような体制をつくっている
- 32 ・コロナの為行っていない
 ・コロナで難しい
 ・コロナの影響で行えていない
 ・保護者会を予定していたがコロナの影響で実施されていない。今の状況にあった交流の場が作れるといいと思う
- 33 ・対応職員を決め行っている
 ・苦情対応にマニュアル従い、窓口、責任者を設置し早急に対応すると共に、報告書を作成し職員同士共有している。また、ミーティングで話し合い次に生かす努力をしている
- 34 ・InstagramやFacebookへの投稿や、活動写真を掲示したり、毎月行事予定カレンダーを配布している
 ・SNS(Instagram・Facebook・ホームページ)を活用し活動の様子を発信している
- 35 ・個人情報保護マニュアルに沿い、個人ファイルやデータの持ち出しを行わないようにしている
 ・個人情報に当たる内容には、個人ファイルや会話内容に細心の注意を払っている
- 36 ・視覚的ツール(絵カードや写真、タイムタイマーなど)を利用している
- 37 ・コロナで難しい
 ・招待は出来ていないが、月1イベントでは様々な企業の方に協力して頂き、開かれた事業運営が出来ているのではないと思う
 ・コロナの影響で計画をすることが難しかった
 ・災害時に助け合いが出来るように事業所の認知を広げていく努力が必要かと思われる

非常時等の対応

		はい		いいえ		どちらともいえない	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	100%		0%		0%
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	7	100%		0%		0%
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	58%		0%	3	42%
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	42%		0%	4	58%
42	食物アレルギーの子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	42%		0%	4	58%
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	100%		0%		0%

【改善目標、工夫している点など】

- 38 ・マニュアルを事業所内に掲示したり、事業所内研修で読み合わせを行い確認をしている
・各マニュアルを作成し、研修や会議などで確認を行っている
- 39 ・月に1回は訓練を行い、職員の役割や避難の流れ等を確認することが出来ている
・定期的に、災害・不審者を想定した避難訓練を実施している
・月に1回、地震・火災・水害・不審者の想定で避難訓練を行い、確認・改善に努めている
・定期的に避難場所までの避難を想定して歩くことで、課題など見つかるので引き続き実施していきたい
- 40 ・事業所内研修の予定の中に年数回虐待防止マニュアルの読み合わせを組んで行っている
・日常の支援を振り返り、常に虐待防止に努めている
- 41 ・身体拘束を行わなければならない児童がいないため計画書に記載はしていない
・現在対象者はいないが、職員間で確認をすると共に、必要な場合は事前に同意を得て計画書に記載するようにする
- 42 ・対象の児童はいないが、保護者にアレルギーの有無の確認は必ず行っている
・現時点で、食べ物アレルギーを持つ児童はいない
・保護者からの指示により対応している。調査票に記載をお願いしている。
・命に係わる事なので、実際に該当する児童が利用となった時は、しっかり対応していきたい
- 43 ・共有している
・ヒヤリハット報告書を作成して全職員で共有をし、再発防止の対策を講じている
・職員同士の共有はなるべく早く行っている
・会議内でもっと話し合えると良い

《 今後、改善を図っていく点 》

- 現在、外部研修への参加は難しいので、事業所内の職員研修を通じて、各マニュアルの再確認を定期的に行なっていく
- コロナウイルス感染状況の様子をみながら、保護者の交流の機会や地域との交流の機会を設ける
- 事業所として今後も感染症対策を継続していくと共に、今出来る事を正確かつ安全に行っていく